

技術士 第二次試験 模擬答案用紙

| | | |
|--------|----------------|----------|
| 受験番号 | | 技術部門 |
| 問題番号 | | 選択科目： |
| 答案使用枚数 | 枚目 枚中 | 専門とする事項： |

り、着々と実施されている。しかし、対策を推進していくにあたっては、関係者が多く、誰がどこまで対策を実施すればよいか役割が不明確な状況である⑤。よって、責任分界点の観点から、関係者間の役割分担の明確化が課題である。

- ⑤ 前段では、関係者に求められる対策が洗い出されていると言っているにも関わらず、ここでは役割（対策範囲）が不明確と言っており矛盾しているように見えます。
- ⑥ 責任分界点と役割分担は、ほぼ同じ意味で捉えられます。この場合は、体制面の観点とかですかね。

(3) いかによりリスクコミュニケーションを促進するか
 広大な流域で流域治水を進めていくに当たり⑦、
 リスクコミュニケーションが不足しているのは、治水対策への理解や円滑な実施が難しい⑧。このため、
 P L A T E A U や デ ジ タ ル ツ イ ン 等 を 活 用 し、災害リスク情報
を充実化させ住民や企業等の危機感を醸成する
 ⑨ とともに、治水対策の効果を明確にすることが重要
 である⑩。よって、仕組み面の観点から、上流下流を
含むあらゆる関係者でのリスクコミュニケーションが
課題である。

- ⑦ 細かい話ですが、「あたり」、「当たり」はどちらかに統一しましょう。
- ⑧ 「治水対策への理解」は「難しい」にかかっているので、「治水対策への理解が難しい」と読んでしまいます。「治水対策への理解を得ること」が正しい表現ではないでしょうか。さらに、「・・・進めていくにあたり、・・・実施が難しい」といった構文も違和感があります。

技術士 第二次試験 模擬答案用紙

| | |
|--------|-------|
| 受験番号 | |
| 問題番号 | |
| 答案使用枚数 | 枚目 枚中 |

| |
|----------|
| 技術部門 |
| 選択科目： |
| 専門とする事項： |

雨による洪水が予想される場合は、事前放流を行い、洪水前に貯水位を低下させ治水容量を増大させる。このように天候に応じて貯水量を柔軟に変動させ高度な運用を行う^⑫。これにより、民間や地方自治体におけるダム周辺での遊休地等の活用や発生した電力を用いた地域振興を実施する^⑬。

- ⑫ 高度な運用の具体的な行動が、天候に応じて貯水量を柔軟に変動させることではありませんか。どちらか一方にすべきです。→「ダムの運用を高度化する」または「天候に応じて貯水量を柔軟に変動させる」
- ⑬ ダム運用を高度化することと遊休地の活用、地域振興がつながりません。なぜ、遊休地を活用するのか、ダムの電力でなぜ地域振興が図られるのかが分かりません。

(2) 安全なまちづくり
 災害からの被害対象を減らすため、災害ハザードエリアへの規制、移転促進、立地適正化計画の強化など安全なまちづくりのための対策を講じる。具体的には、土砂災害警戒特別区域等の災害レッドゾーンにおける自己の業務用施設（病院、ホテル等）の開発を原則禁止する^⑭。また、市街化調整区域の災害イエローゾーンにおける住宅等の開発許可を厳格化する^⑮。さらに、立地適正化計画の居住誘導区域から災害レッドゾーンを原則除外し、災害レッドゾーンからの移転を促進する。移転にあたっては、防災集団移転促進事業等を有効に活用し、事前防災のまちづくりを実施する。^⑯

技術士 第二次試験 模擬答案用紙

| | |
|--------|-------|
| 受験番号 | |
| 問題番号 | |
| 答案使用枚数 | 枚目 枚中 |

| |
|----------|
| 技術部門 |
| 選択科目： |
| 専門とする事項： |

- ⑭ すでに法改正がされていますので、解決策と言えるか疑義があります。
- ⑮ ⑭と同様。解決策は、立地適正化計画を策定することなのではないでしょうか。
- ⑯ 述べていることは正しいのですが、選択科目Ⅲなので河川砂防及び海岸・海洋の技術をアピールする解決策としていかなもののでしょうか（まちづくりの視点なので都市及び地方計画寄りの解答になってしまっています）。

(3) 粘り強い河川堤防の整備
 越水が生じた場合でも、避難するための時間の確保
 や浸水面積の減少に伴う被害軽減⑰を図るため、粘り
 強い河川堤防の整備を促進する。具体的な構造は⑱、
 表面被覆型（断面拡幅型を含む）と自立型（自立式特
 殊堤を含む）に分類される。表面被覆型は、土堤法面
 にコンクリートブロック、天端にアスファルト等の被
 覆材料を設置することで耐久性を向上させる。一方、
 自立型は、堤防の内部構造を工夫したもので、鋼矢板
 やコンクリート擁壁を使用した構造で、越水時にも自
 立して耐久性を発揮する⑳。㉑

- ⑰ 浸水面積の減少で被害が軽減することは理解できるので、この部分は不要です。
- ⑱ 文脈をつなげるため「粘り強い構造は」としてはいかがでしょうか。
- ⑳ 「・・・で、・・・で」と繰り返されています。また、ここは解決策なので、構造を説明するとい
 うより、やりことを書きましょう。「堤防の内部に鋼矢板やコンクリート擁壁を設置し、越水時に
 おいても自立可能な構造とする。」
- ㉑ 全体が構造の説明になっていますので、課題解決の行動を書くようにしましょう。また、分類した
 構造の適用場面なども説明すると良いでしょう。

